

シェアサイクル事業の内容と現在設置している駅名

都市安全部 交通政策課

1 概要

公共交通の機能の補完、地域経済の活性化や観光振興等に資する新たな移動手段について、他の自治体における先行事例を参考に、民間事業者と連携したシェアサイクルの実証実験を実施する。

2 実証実験における市と民間事業者の役割

(1) 市の役割について

- ・ 実証実験の総括
- ・ サイクルポート用の公有地の確保
- ・ 市民への周知及び広報 等

(2) 民間事業者の役割

- ・ 実証実験の実施に係る施設及び器材（シェアサイクルの車両を含む。）の確保、整備及び維持管理並びに実施期間終了後の原状回復
- ・ 実証実験に係るシェアサイクル事業の運営
- ・ 公有地以外でのサイクルポートの確保
- ・ 利用者への周知及び広報
- ・ 利用者への安全啓発
- ・ 利用者へのアンケート調査の実施及び分析、実証実験の効果検証 等

3 市内でサイクルポートを設置している駅

昨年 10 月より民間事業者が市内の阪急電鉄 6 駅にサイクルポートを設置し、民間主体で事業を開始している。

市内でサイクルポートを設置している駅名 令和 8 年 2 月 28 日時点

- ・ 阪急電鉄 仁川駅
- ・ 阪急電鉄 小林駅
- ・ 阪急電鉄 逆瀬川駅
- ・ 阪急電鉄 宝塚駅
- ・ 阪急電鉄 清荒神駅
- ・ 阪急電鉄 中山観音駅

※ サイクルポートの設置住所は川西市であるが、阪急電鉄雲雀丘花屋敷駅にも設置している。